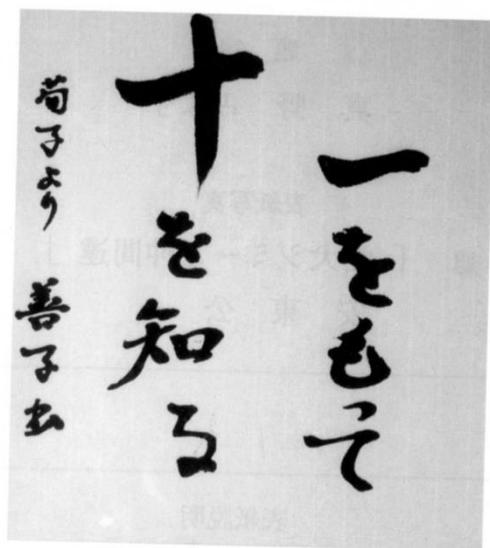


# 作東の文化

No.43



書道 春名善子

平成29年10月



# 作東の文化

No.43

作東文化協会

目次

巻頭言

俳句との出会い そしてお四国 春名貞和…………… 1

特別寄稿

日本語の妙…………… 横山 猛…………… 3

所感寸言

二つの失言…………… 衣笠隼巳…………… 6  
 気になる日本語―「ら抜き言葉」…………… 内藤善晴…………… 7  
 米寿を迎えて思うこと……………

―介護緊急療養センター(仮称)設置について―

随筆随想

老いのたわ言…………… 吉政實夫…………… 10  
 情報時代…………… 井上健一…………… 12  
 趣味と私の人生…………… 安東公一…………… 13  
 趣味のこと…………… 山本進一郎…………… 15  
 おとなりさん…………… 井口祥子…………… 16  
 最後の仕事…………… 岩本全子…………… 17  
 私とラジオの思い出…………… 長家克子…………… 18  
 スカーフト…………… 三浦智江子…………… 20

歴史紀行

王道池の今昔…………… 野村勝志…………… 21

短文芸

俳句

小旅行(その三)…………… 春名はるを…………… 26  
 山里の一年…………… 阿北斎…………… 26  
 椿…………… 丘乃雀…………… 27  
 山里…………… 豊田絢子…………… 27  
 栗の花…………… 坂井はつ子…………… 27  
 七草粥…………… 杉本幸子…………… 27  
 空や野や…………… 沖田はるみ…………… 28  
 草取り…………… 山本靖子…………… 28  
 浅き春…………… 樽井悦子…………… 28  
 竜の玉…………… 高橋ヤエ子…………… 28  
 春キャベツ…………… 樽井清江…………… 29  
 子つばめ…………… 井口祥子…………… 29  
 さくらもみじ…………… 福嶋多斐子…………… 29  
 限界…………… 春名静山…………… 29  
 川柳…………… 春名静山…………… 30  
 点…………… 春名静山…………… 30  
 短歌…………… 山下三景…………… 31  
 重ねて思ふ…………… 坂井はつ子…………… 31  
 兵庫県知事選挙……………

題字  
 真野みよ子

表紙写真  
 題 「愛犬ジミーと仲間達」  
 安東公一

表紙説明

題 「愛犬ジミーと仲間達」  
 愛犬ジミーは、小生が会社経営で岡山のマンション住まいをされていて、妻が一人住まいは寂しいと言うことで買ってやった、ワンちゃんだが、来た時は、手の平に乗るくらい小さかったが、来て11年になるので、大きくなったが、今は妻が逝き、一人暮らしになった小生にとって、良き相棒であり、良き友である。これは妻のために作ったガーデンの花の中にあるジミーとその仲間達である。

|                  |            |    |
|------------------|------------|----|
| 新緑の中……………        | 中村千州代…………… | 32 |
| 勝てと折りつ……………      | 加藤幸子……………  | 32 |
| 前向きに……………        | 杉本幸子……………  | 32 |
| 老二人……………         | 宅美とみ子…………… | 32 |
| 大好きな孫……………       | 土井つゆ子…………… | 33 |
| 兄逝く……………         | 山下照夫……………  | 33 |
| 「米ノ英仏中」の指針直視の事など |            |    |
| 春……………           | 加藤芳英……………  | 33 |
| 我も嬉しき……………       | 新田みどり…………… | 33 |
| 大山……………          | 森本久子……………  | 34 |
| 春……………           | 名部みどり…………… | 34 |
| 米寿の夫……………        | 光井房子……………  | 34 |
| 衣替へ……………         | 野沢老梅……………  | 34 |
| 季の移ろひ……………       | 藤川亜也……………  | 35 |
| 希望……………          | 安西苑……………   | 35 |
| つながり……………        | 井上さかゑ…………… | 35 |
| 血縁……………          | 大内佐智……………  | 35 |
| 水……………           | 藤本伸子……………  | 36 |
| 焦点……………          | 内藤慶子……………  | 36 |
| 温き余韻……………        | 松井洋子……………  | 36 |
| 痛みいろいろ……………      | 有元理嘉子…………… | 36 |
| 天国の夫よ……………       | 横山美恵子…………… | 37 |
|                  | 原田順子……………  | 37 |

|                   |                        |    |
|-------------------|------------------------|----|
| 銀光……………           | 小林洋子……………              | 37 |
| 残る身に……………         | 新免三代……………              | 38 |
| わが犬「空」よ……………      | 豊田絢子……………              | 38 |
| 心を込めて……………        | 新田千晶……………              | 38 |
| 十薬の花……………         | 末宗玲子……………              | 38 |
| 我がルートツ……………       | 黒石初江……………              | 39 |
| 元氣な人びと……………       | 丘野道子……………              | 39 |
| 古いの日……………         | 船曳文子……………              | 39 |
| 年重ねつつ……………        | 角利津……………               | 39 |
| 草を引く……………         | 北村和子……………              | 40 |
| 遺伝子……………          | 角南三津ゑ……………             | 40 |
| 歌友の逝く……………        | 黒石登代……………              | 40 |
| うつろひてゆく……………      | 長澤和枝……………              | 40 |
| 天の川ロマン……………       | 貞森房子……………              | 41 |
| 春が近づく……………        | 日下智加枝……………             | 41 |
| 富士野峠……………         | 富 <sup>ふ</sup> どの…………… | 41 |
| わたしは消えて……………      | 浜田くに子……………             | 41 |
| 飼ひ猫……………          | 入矢敏江……………              | 42 |
| 安らぎ……………          | 福島美智子……………             | 42 |
| 今日も生きて……………       | 春名倫子……………              | 42 |
| またしても……………        | 三浦智江子……………             | 42 |
| 作東文化協会グループ紹介…………… | 関内惇……………               | 43 |
| 作東文化協会決算報告……………   |                        | 51 |

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 作東文化協会会則……………             | 52 |
| 平成29年度 作東文化協会会員・役員名簿…………… | 54 |
| 編集後記……………                 | 65 |



日本画 須田 稔 枝

## 〔巻頭言〕 俳句との出会い そしてお四国

会長 春名貞和

今、短文芸が静かなブームとなっている。

すなわち、短歌、俳句、川柳である。とりわけ、俳句の分野の隆盛と初心者の増加においては、夏井いつきさんの努力に頭の下がる思いがする。彼女は三、四年前からのTBS系バラエティ番組「プレバト!!」で俳句ブームに火をつけた人気俳人である。小生はこれより十六、七年前にタイムスリップして俳句との出会いを回想してみたい。

平成十二年十月、全国小学校長研究大会が松山市であり、参加した。松山は私の青春の思い出のつまっている、城と温泉と俳句の街である。

シンポジストの三人の中の一人に夏井いつきさんがおられた。彼女は「俳句づくりを通して」を核として熱っぽく語られた。そして「句会ライブ」と称して、種々の学校で実践されている。その目的は三つ①俳句はむずかしいという固定観念をこわすこと。②五分で俳句づくりができることを教えること。③コミュニケーションの楽しさをみんなに体験させることである。また、こうも言っておられる。「俳句を上手に作る子どもを育てるとか、素晴らしい作品を作らせるといふより、俳句を使って、子どもたち同士が相手を認めあったり、相手の話を聞いたりする経験を沢山させてやりたい」そして、しめくくりとして「俳句を始めると沢山の季語を覚える。季語を覚えると、五感を通して感じるようになる。季語による様々な自然体験、季語体験をさせ、俳句のゲーム性を使って、お互いに相手の話をよく聞き、自分の言葉できちんと自分の感想を

語る経験を子どもたちに提供してくれる」のが句会ライブの仕掛けなのである。

彼女の著書に「子どもたちはいかにして俳句と出会ったか」がある。俳句作りの楽しさと、日本の美しい言葉の魅力を伝えるために、学校教育の中へも俳句の活用を提案しておられる。そして平成十三年岡山の牧石小学校でお会いし、交流を続け、勤務校の土居小学校に三回、美咲町の打穴小学校にも三回来ていただいた。

それ以来、私の下手な俳句づくりは続いている。

ある日、仏間を整理していると、木製の箱に入った書き物が二冊眠っていた。表題を見ると「文政十一年十二月吉日 奉納経四国八十八ヶ所霊場記 作州英田郡白水村願主源藏」と「願主源藏の妻」とあった。いわゆる納経帳である。これは約一九〇年前の先祖の記録である。私は、急にお四国巡りの念にとりつかれてしまった。折しも、蓮花寺のご住職から誘いがあり、二年がかりで、その目的を達し、高野山にお礼参りもさせていただいた。以下は、お四国巡りの中で詠んだ句や四国へのあいさつ句である。

発心の道場 徳島

発心の身を引き締める青蛙

極楽の入口探す紅葉寺

紫陽花や声唱和して大師堂

鈴の音の石段登る枇杷熟れて

ゆく秋の鳴門の渦に巻かれたや

修行の道場 高知

梅雨空に古刹の鐘の流れたり

瀧聞こゆ同行二人の杖洗ふ

初時雨竜馬越えしやこの峠

菩提の道場 愛媛

梅雨の雨納経帳へ一筆

夏遍路仁王前にて握り食む

ゆうすげの花に重なる伊予餅

滝音に背を押されて奥の院

涅槃の道場 香川

山を割る読経の響き秋遍路

浦の月海鳴りの詩聞いている

大窪寺お百度の子の息白し

# 特別寄稿

## 日本語の妙

横山 猛  
(歌人)

皆さんもよく御存知のように「百人一首」に次のような歌がある。

花の色は移りにけりないたづらにわが身世にふるながめせし間に (小野小町)

表面的な歌意は、「美しい花の色香はすっかり色あせてしまったことよ。むなしく春の長雨が降っている間に」ということであるが、その裏には「私の容色はすっかり衰えてしまった。むなしく、私が男女の間のことにかかずらわって過ごし、いたづらに物思いにふけっている間に」とか、「私もこの世の中に生き長らえてもの思いをしている間に、むなしく年老いてしまった」などという訳もある。それは「花」は植物と容色、「世」は男女の中と世の中。「ふる」は、経る・古る・降る。「ながめ」は、長雨・眺め・もの思いなどの掛詞になっているからである。

次の歌もなかなかややこしい。

わが庵は都の辰巳しかぞ住む世をうち山と人はいふなり (喜撰法師)

歌意は、「私の庵は都の東南にあつて、このとおりに静かに暮らしているのに、人は私のことを、世の中を憂しと思つて宇治山に住んでいると噂をする。」である。また、十二支では辰巳の次は午。その馬から同類の鹿を引き出して「しか」と掛け、鹿の住む寂しい場所と、その鳴き声の「憂し」から「うち山」へとつないでいるとの説もある。

古今和歌集にも一風かわつた詠み方の歌がある。先ずは「かきつばた」の詠み込み。

唐衣きつつなれにしつましあればはるばるきぬるたびをしぞ思ふ (在原業平)

次は「うぐいす」の詠み込み。

心から花のしづくにそほちつつ憂く干ずとのみ鳥のなくらむ (藤原敏行)

次は、漢字の離合詩にならつて梅を詠む。

雪降れば木ごとに花ぞ咲きにけるいづれを梅とわきて

折らまし (紀 友則)

更には、同じ文字が一つもない歌。

世の憂きめ見えぬ山路へ入らむには思ふ人こそほだしなりけれ (物部良名)

このように、我々の先人は頭脳を駆使し、言葉を駆使して、すばらしい作品を後世に伝えてくれている一方、何の飾り気もなく、すんなりと詠んでいて、余情のある歌もある。

仁和のみかど、みこにおはしましける時に、人にわかぬ腸ひける御歌。

君がため春の野にいでて若菜つむわが衣手に雪はふり

つつ (後の光孝天皇)

我々も、今のうちにもう一度、日本語の歴史や重さや奥深さを考えてみてはどうだろうか。そのためには、所感寸言・随筆随想・歴史紀行・短文芸などへの投稿が大きい役立つのではあるまいか……。

さて、今年も、去る四月十三日(木)に、第六回文芸愛の小径短歌大会を開催した。題は「語」。応募者百十名。選者賞は次の十首である。

二歳にて滑舌さやかに語る児も「チー君と半分」と母の

膝こふ 田中 睦子(鶴山)

亡き夫にひと日の出来ごと語りつつ香をたきをり一人

の部屋に 小川 愛子(英田)

過疎すすむ村にいつしか方言を聞く事も無く語るなく

老ゆ 小川 律子(赤北)

童らに民話を語る老いわれの細胞ほこほこ五体が目覚

む 和田眞佐子(林野)

海洋への道ひらかむと神戸港開きし清盛と物語りせむ

坂井はつ子(三河)

発音に「サ行とタ行」の同居して語る三歳わが家の宝よ

小林 洋子(吉野)

一言も語らず見つむるひとの目よ言ひたき言葉をこら

へてぎりぎり 入矢 敏江(英北)

さり気なく語れる友のうるむ眼の奥に思へりそのかな

しみを 羽原 清子(赤坂)

うちとけて恋愛・人生を語り合ひしかの日の友よ若く

一途に 浜村真佐子(千里)

木をつつき畑打つ我を振り向かせ物語るがに囀る鸛よ

後藤 秀子(勝田)

# 所感寸云

感想や批評を文章で表現する

簡単そうで難しい

しかし文章化されることで

新たな感想や批評が生まれる



写真 小坂田 貢

## 二つの失言

衣笠隼巳

地震、雷、火事、親父、昔から恐いものと相場が決まっていた。現在でも親父を除いて恐いことに変わりはない。殊に地震は日本全国どこなら、安全、安心という場所はどこにもない。何年先にどこで起こるといふことがわかれば対策もあろうが、それができないから余計に始末が悪い。

私は、今思い出しても腹の立つことが二つある。あれは、平成七年一月十七日、遅い朝がやっと明けた五時四十六分、ゴーという地鳴りと共に大きな揺れに起こされ、すぐテレビのスイッチを入れた。速報で、今、大きな地震が発生したと報じていたが、肝心の震源がどこも震度がいくら

とも言わない。暫くして情報も入りはじめ、福井、石川、京都、奈良、大阪と次々震度が出たが兵庫は空白だった。後で知ったが計器が壊れ計測不能だったらしい。やがて、現状が流されはじめた。神戸の市街地の惨状、高速道路は横倒し、火災が発生しても水が出ない。この現実をいち早く報道しようと関係機関も躍起だ。映像と共にアナウンサーも興奮して言った。「……、これが東京だったら大変なことです」と。

変わって平成二十三年三月十一日午後二時四十六分、東北で大地震が発生した。押し寄せる津波、流される家、陸に打ち揚げられる漁船、続いて

起こる原発事故、あの生々しい映像は脳裏から消えることない。その災害復旧に国を挙げて取り組んでいる最中、平成二十九年四月二十五日、こともあろうにトップの某復興大臣が会派のパーティーで肩書を楯に持論をぶち撒いた。「これがまだ東北で良かったが、首都圏に近かったら莫大な被害だった。」と。これはまだ記憶に新しいが、「軽率な発言でした。訂正してお詫びします」で片付けられる話ではない。この二つの言葉に共通しているのは東京というブランドに胡坐をかいて驕りから出たものだけだ。一時期、一極集中から脱却して地方分散をと考えた総理もいたが立ち消えになり、今は「全ての道は東京へ通ず」である。高齢化がすすみ、衰退して行く地方と、対照的に全国から若

者が押し寄せるまさに東京一人勝ちの時代である。こんな淋しさと、空しさは、首都圏に暮らす人にはわからないだろう。これも「作東の文化」の先輩の言葉を借りるなら、老いのたわ

ごとそのものであろう。私もこの文化誌に二十数年拙文を投稿して参りましたが、この四十三号をもって終わりにします。編集下さった関係の方々に改めてお礼申し上げます。

## 気になる日本語——「ら抜き言葉」

内藤善晴

昨年の九月二十二日の山陽新聞に、次のような記事が掲載されていた。

「ら抜き言葉」のうち「見れる」「出れる」という表現を普段使う人の割合が、「見られる」「出られる」を使う人をわずかに上回ったことが、文化庁の二〇一五年度国語に関する世論調査でわかった。一九九五年の調査開始以来、複数のら抜き言葉の浸透度合いを定期的に尋ねているが、

使う人が多数派になった例は初めて。このような傾向は、若い世代ほど定着していたという。

この「ら抜き言葉」について、日本語の文法用語を使って、少し体系的に説明させてもらうと、上一段・下一段・カ変活用等の動詞に可能な意味を伝える助動詞「られる」がつかないものから「ら」の脱落した言葉がそれで、例えば「起きられる」「食べられ

る」「来られる」に対する「起きれる」「食べれる」「来れる」などがそれに当たる。

この「ら抜き言葉」は、今のところ正しくない日本語ということになっているのだが、五段活用動詞から派生する下一段活用の可能動詞との類推によって発生したものと考えられている。例えば、歩く↓歩ける・走る↓走れる・話す↓話せる・書く↓書ける・遊ぶ↓遊べる・働く↓働ける、等々。

先日、六月二十七日のテレビで「アジサイ寺」と言われている大聖寺で西洋アジサイが鹿にやられて困っている」とのニュースが伝えられていた。その時「このままではアジサイが見れなくなってしまう」と話している女性が登場したが、画面下には「……

見られなくなってしまう」と文字表記がなされていた。正しい日本語を大切にしているらしいNHKの努力であろう。このようにNHKテレビでは、時々「ら抜き言葉」を正しく直して文字表記しているのに、皆様もお気づきでしょうか。

テレビでは、インタビュ―場面もよく見かけるが、「積極的なプレーが見れたのでよかった」とか、「思い切ったインコースに投げられるようになった」とか、「熊本城のこの石垣の穴から外へ抜けるんですね」とか、「ら抜き言葉」はあちこちで使われている。

言葉は生きものである。一概に日本語と言っても、大昔からすれば随分変化してきている。死語となってしまうものもあるし、意味不明の

ような言葉もある。

「ら抜き言葉」にしても、それを使う人が次第に多くなっていった時、堂々と認知される日がやってくるの

ではないかとの思いもしているのだが、今のところ私には気になる日本語である。



ちぎり絵 唐内治美

## 米寿を迎えて思うこと —介護緊急療養センター(仮称)設置について— 春名倫子

いよいよ八十歳の太台にのつたと  
思ったのも束の間、あつという間に  
米寿を迎える年になっていました。

巷にはお年寄りが溢れています。そ  
う言えば日本は、急速に少子高齢化  
の時代を迎えようとしているのです。  
「ピンピンコロリ」の幕引きをと考え  
ていた自分の甘さに反省させられる  
昨今、現実を直視し遅まきながら真  
剣に老後と向きあわなければなりま  
せん。現代社会では、もはや子が高齢  
の親の介護をする余裕もなくなりつ  
つあり、子は子で自分の生活を守る  
のが精一杯の現状のようです。そこ  
まで考えた時、これからの老後の最

後のステージは介護サービスに頼る  
しかないということに思い至りまし  
た。

そこで、介護施設について調べて  
みました。現在の介護施設は、美作市  
及びその近隣の一部を含め約三十七  
箇所、収容人員約二〇〇〇名程度で  
ほとんどが満杯状態のようです。団  
塊の世代が全員七十五歳以上となる  
二〇二二年頃には、介護サービスを  
必要とする人は急速に増え、施設も  
費用も倍増が見込まれる時代に突入  
していきます。そこで高齢者達の入  
居できる緊急避難的な介護施設が必  
要になります。費用についても公的

施設と民間施設によつての違いはあ  
るようですが、高額な民間施設では  
月額三十三万円位も、病院経営の老  
健施設で二十万円前後、公的施設で  
も十万円前後の負担となれば生活を  
圧迫します。

また、介護度の認定如何によるの  
かも知れませんが空き部屋の順番待  
ち〇〇番、また、施設、施設を三ヶ月  
ごとのたらい回し状態の人もあると  
聞きます。高齢化が年々進むにつれ、  
一人暮らし・老々介護の夫婦などが  
病や怪我などで倒れた時に入所でき  
るかけこみ寺的な福祉施設はできな  
いものでしょうか。

例えば体育大学誘致などの話もで  
ている、江見商業高校の跡地(校舎、  
運動場併せて二ヘクタール)の一区  
域にでも、美作市緊急介護療養セン

ター(仮称)の設置が望まれます。緊  
急の場合安心して入所できる施設が  
あればこれからの高齢者、一人暮ら  
しの人達も安心して生活できますし、  
介護する子供の立場からみても心丈  
夫だと思つたのです。

紙面の都合で言葉たらずになりま  
したが、何はともあれ、高齢者・一人  
暮らしの人達があふれるであろう二  
〇二四年頃までには、是非ともこう  
いう緊急介護老人施設(食事つき)の  
増設が急務だと思つていきます。

## 老いのたわ言

吉政 實夫

可愛いやのー「西に百々の酒屋が  
なけりや若い熊七殺しやせぬ」可愛  
いやのー。もう一つおまけに可愛い  
やのー。

江見馬場坂、血で染めた、さすらい  
て無茶なもの  
四ツ塚事件当時の流行歌としてい  
たようだ。

田舎なれども土居の町名所、如何

な大名も土居宿り。

町の東西に大関門九尺二間の大道  
路、三国一の大鳥居、一夜宿りがして  
みたい。

田舎料理に花添えてベツピンさん  
の多いこと代官様もほめちぎり、や  
つぱり土居は良い所。

土居の太寺寺、やつぱり土居は良  
い所、代官様もほめちぎる。



洋画 原田照子

土居太寺寺の太太鼓、一打ちで始  
まる百万遍の大供養、七日七夜打ち  
続け、老若男女の区別なく、それ行け  
ご供養じゃ、念仏じゃ。



# 随筆随想

おりにふれて

感じたことや

見聞・体験を

なにくれとなく

書き綴る

思いのままに



書道 嶽 先 誠 二

## 情報時代

井上健一

最近、電子機器使用が目立って増え続けている。この文章もパソコンを利用して書き込んでいる。人間の知恵が生み出した傑作品である。

今回は年々に発達していく電子機器の長所と、短所について、書き込んでみようと思う。

時は一九六〇年代後半まで遡る。テレビでは、人類が初めて地球以外の天体に足を踏み入れる可能性を持つて月に向かうアポロ十一号の様子と、アメリカ航空宇宙局の内部が放映されている。これがコンピュータか！凄いい機械だなあ！と感心したものだ。アポロ十一号から五十年近くの年月を経た今、大きな部屋を占

領していたコンピュータの性能をはるかに超えたコンピュータが、超小型化されて活躍している。

一例を挙げれば、携帯電話やテレビ等の家庭用品は勿論のこと、自動車の制御システム等、あらゆる機器に〇〇キットという名称で、使用されている。大げさに言えばコンピュータではない物は、自然界のみとも言える。

このように様々な形で私達の生活に不可欠となっているコンピュータだが、悪用されると、これほど恐ろしい物もない。

昔の戦いは、素手の取っ組み合いから始まり、弓矢鉄砲という具合に

大量に殺戮ができるように進化してきている。

現在の戦争の主力は、鉄砲や大砲ではなく、ミサイルだ。瞬時に相手国が撃つたミサイルの発射場所や種類や、飛行経路の測定も可能なのである。場合によっては発射されたミサイルを撃ち落とすことも可能なのである。

どんなに素晴らしい電子機器でも所詮機械なのである。急に作動しなくなったり、誤作動を起こすことも多い。誤作動を起こさせる為のサイバー攻撃等も頻繁に行われている。

コンピュータを巧みに操り、情報の流れを起こさせて、詐欺等に使用される場合も多い。

人間が作り出した最高の傑作である電子機器も、便利で快適になった

反面、大量の破壊活動の原動力にもなる電子機器と、うまく付き合っ行ってきたいものである。

## 趣味と私の人生

安東公一

前年度の作東の文化で、ペガサスセミナーでロスに行ったことを書きましたが、翌年、セミナーのコースをたどり部下とロスとサンフランシスコに行き、ロスアンゼルスではLoryやサンフランシスコでは、登山電車に乗り山頂のビクトリアステーションを見たりして、新規の仕事で生かすことにする。部下との旅は楽しいものでした。

その年三十二歳の時、ある日会長から呼ばれ、「安東君、今度、月刊財

界の編集長の山口さんとNHKの高橋圭三さんと会社社長の河田さんとオーストラリアに行くので、供を兼ねて一緒にしてくれないか。」と言われ、「荷が重すぎる」と断るが、「気軽に一緒にしてくれたらいい」と言われ、「気は付きませんよ」と言い、受けることにする。

トップ族という人種は、言葉は優しいが本当に我儘だ。ある日、シドニーのホテルで食事をしていると、「安東さん、麻雀がしたくなった」パイ

んな意味でいい勉強をさせてくれ、一回り大きな人間にしてくれたような気がした。

最初は本当に腹が立ったが、若造の私を誘ってくれた社長には感謝している。この五人会の旅は、二度と行くことのできない経験をした。その一は、経営不振で今年最後でフランス航空のコンコルドが飛ばなくなるとのことで、パリからニューヨークまでコンコルドで飛んだ。ジャンボで九時間かかると、音速の三時間半である。席は両側二列でパーサーは黒人の本場にスマートな美人で、最後のコンコルドを楽しんだ。

ニューヨークではセントラル・パークで馬車に乗り、軽やかなヒジメの音とともにリスと戯れたりして、馬車を降り、ティファニーに行き、五

番街に出てニューヨークの資産家のトランプタワーに行く。一Fのシロップは黄金色で見れたもんじゃない。そのトランプ氏が米国の大統領になったのには本当におどろいている。

その二は、ニューヨークのマンハッタンの貿易ツインビルの一〇階のフランス料理に三回行ったが、一〇階から下を見ると自由の女神が小さな蟻の子位に見えた。テロがこのビルに突っ込みビルの人々は苦しさで、次々にここから飛び降りた。本当にむごいことだ。心から哀悼の念に駆られた。好きだったツインビルに行くことはもうできない。アメリカの象徴のビルだったのに……。

その三はニューヨークであの四人組に「安東さん、今日はゴルフに行く

を買ってきてくれないか」と言われたが初のシドニーで、夜八時である。デパートもしまっているし、勝手なこと言いと頭にきたが、意地を受けて、タクシーを拾いチャイナタウンへ行き、歩いていると古道具屋が日についたので入り、棚を見るとパイがあるではないか。この時は本当に「しめた」と思った。中古なので安く買いタクシーを拾いホテルに帰ると、「後で大変なこと頼んだなと思った」と言ってくれたが、この時は本当に家に帰りたいと思った。他にもいろいろと我儘があったが、この連中との付き合いが毎年五回位続いたが、この人達との付き合いと、岡山財界の人達との海外での付き合いは、その人達の生き方や人生観はその後の私の会社生活や個人生活に、いろ

ので一日自由にして」と言われた。一日を充実した日にしようと、まずヘップバーンの「ティファニーで朝食を」のシーンのティファニー二Fに上がりオープンハートでなくオープンアップルを妻の土産に買い、五番街を下って見ると、世界一のビジネス街だけあって紳士達のスーツ姿はさすがと思った。そしてまたまた下がりダウンタウンにでた。

そこが、ブロードウェイである。歩いていると小さな赤い屋根の小屋があった。ここがショーの当日券売り場である。そこに並んでロングラン中の「Dancing」のチケットを求め観劇した。プロの職人芸には感動の一言である。充実した一日になった。

ニューヨークの経験を話したが、アメリカ各地、ヨーロッパ各地、オー

ストラリア、ラスベガスや、パームスプリングス等等、いろんなところにいったが、最初の経験から添乗員なしで自由にいけることが、海外旅行を一生の第三の趣味にしたのである。

## 趣味のこと

山本進一郎

趣味は？と聞かれると今は「謡」と「仕舞」と答えている。若い時から仕舞に興味を持っていたが、その頃は縁があつてお茶を習っていたので、時間的にも余裕が無く、そのままになつてた。ようやく時間にゆとりができてきたのと、健康のためには腹の底から声を出すこと、体を動かすことが良いと、これにびったりなのが謡と仕舞と判断し、稽古を始め

この趣味が会社経営では、いろんなアイデアを取り入れたし、家庭生活に大いに潤いを持たせてくれたと思つている。

た。しかし、今考えると若い時はお茶でなく仕舞をすべきであつた。芸事は六歳から始めるがよいと昔から人口に膾炙しているが誠にもつともで、六十歳近くになつてから始めて今苦勞している。まず、謡の詞章が覚えられない。謡は原則として本を持つて舞台には上がれない。仕舞では謡いながら舞うことが多いのであるから詞章が覚えられていないと元から舞

えないのである。

謡も仕舞もお能の一部であり、能の詞章は日本・中国の古典、その中でも和歌からの引用やヒントから物語が構成されている。「湯谷」松風」米の飯と言われるように能の演目凡そ二百番の中で初心者に人気の曲も和歌をモチーフとしている。松風は在原行平の「わくらはにとふ人あらば須磨の浦にもしほたれつつわぶとこたへよ」の歌により物語が展開している。行平の弟在原業平は「井筒」に登場する。井筒は世阿弥作の夢幻能の傑作である。「伊勢物語」のなかの業平と紀有常の娘との恋は幼いころ互いに影を水鏡に映して心を通わせていた。若者になつた二人が交わした愛の歌……

筒井筒井筒にかけしまろが丈生ひ

にけらしな妹見ざる間に

比べ来し振分髪も肩過ぎぬ君なら  
ずして誰か上ぐべき  
と詠じている。

また、「小督」は平家物語から着想を得ているが、和漢朗詠集白楽天の

詞章も引用している。このように能

の謡を理解するには種々の知識が必要でなかなか難しい。

健康のためなどと思つて始めた趣味が難しい迷路に迷い込み、少し持て余している今日この頃である。

## おとなりさん

井口祥子

トントントンカラリと隣組、格子を開ければ顔なじみ、まわして頂戴  
回覧板教えられたり、教えたりとい  
う歌がよく歌われました。

私の日々の生活の中で、おとなりさんと顔を会わずと別にこれといった用事もないのに必ず声をかける。

「よう、雨が降るなあ。」

「胡瓜はなり出したん。」

「草がどんどん生えて困るね。」等々他愛のない会話をかわす。

「昨日は鹿が自動車にぶつかつてライトの所がこわされ直さじゃあいいんのんじゃ。」

「そう、すごい災難ね。」

「私は、咳がよく出て困つとんよ。」

「お医者さんに診てもらつたん。」

お互いの悩みを話し、解決の所ま

ではいけないもの話を聞いてもらうだけで悩みが飛んでいってしまう。野菜作りについても

「胡瓜の二回目をもう蒔いたん。」とか

「明日は、雨のようだから蒔こうや。」そして、いい野菜ができると、手づかみで、ドサツと大根とか白菜が玄関の前に置かれる。いつも上手に作られるのが、おとなりさんと、私の方は、もらうことの方が多し。

昔は、向こう三軒両隣で、田植え作業、葬儀、結婚など、喜びも悲しみも分かち合つたものだけれど、最近は、そういうことのお付き合いが薄らいできていのように思える。

しかし、おとなりさんは、いつも変わらず付き合ってくれ、私の元気のもとになつてくれている。毎日が、楽

しくてしょうがない。感謝にあまりあるものがある。

これからも、挨拶に始まってお互いに励まし合って生きていきたい。

## 最後の仕事

岩本全子

家の裏口から上に広がる畑、見上げると美しい段々畑になっている。昔の航空写真では美しい地肌を出して折々の作物が沢山実っていましたね。この暑い夏でも草一本見えない位に手入れがいきとどいていましたね。それに茶の木がきれいに植えられて、夏には番茶を作り、家内中で父が刈り、釜で蒸してムシロに並べて太陽で干していたものです。子供ながら、混ぜたり干したり取り入れる手伝いをしていました。暑い時が仕事なので大変でしたが、あの頃はよ

く手伝っていました。祖母も父母も若かったなあ！今一同に会いたい気持ちで一ぱいです。毎月の命日には墓参りをするのも大変になりましたので、それに畑も竹が入り日に日に占領されてしまいました。少しでもとするのですが草にはかきません。考えました！主人がきれいに植えている果物を大切にしてジグザグと高山列車の線路のように道をつけることにしました。いろいろ考えてよい方に工事を頼みました。ジグザグの道ですが、手すりもつけて立派な道

が四月に出来上がりました。ジグザグジグザグして四回切りかわっているの、土居盆地を見渡す本当によい場所になりました。私も大好きな道なので毎日登っては土居の町々を眺めています。土居で生まれ、土居で育ったのですが新婚時代は大阪でした。あの生駒の山にも勝るものがありますね。新婚当時、夏単車で眺めた大阪の夜景！私にとっては一生忘れられない光景でした。主人と長男と三人で眺めた大阪の光景は懐かしい。主人ともう一度登りたい気持ちでいっぱいです。主人のあの楽しそうな顔がくつきりと浮かんできます。土居育ちの私にとって感動は頂点に達していました。今はテレビの天気予報の時、毎朝もやのかかった生駒の山を大層懐かしく、食い入るように見

入っています。家を継ぐ身なので、土居に帰って来ました。私には忘れられない人生の場所が二つあります。一つは大阪での新しい生活、そして晩年の土居の日々と大変幸福を感じます。父母も大変よろこんでくれたことを忘れません。そして父母と過ごした年月も私にとっては幸福のつみかさねでした。今は一人、元気で自分の道を自分らしくつき進んでいます。

す。いつまで続くのやら！連日の暑さにもまけないで、何とか動いています。もうすぐお盆です。四人の孫たちと賑やかにこの道を登るのを、心待ちにしています。想像しても楽しくなりますね。待っていて下さい！孫たちと参りますよ！この道の側には一ぱいの月見草の花が道を飾っています。ありがとう！ありがとう！

のつぶれる思いでした。八月十五日（日曜日）の午後、重大発表があるというので、講堂に職員、生徒全員集まりました。天皇陛下のお言葉がラジオから流れてきました。しかしよく聞き取れなかったことを覚えていきます。終戦となり、父の実家に引揚げ帰りました。その後、結婚して旧作東に嫁ぎました。

## 私とラジオの思い出

長家克子

昭和の初め頃、一台のラジオを茶の間に置いて家族皆で聴いていました。真珠湾攻撃のニュースを聴いたのは、女学校五年生だったと思います。私は韓国で育ち、父の仕事の関係

で転校を何回もしました。京城女子師範学校補習科を卒業し、釜山公立第六国民学校に勤めていました。その時、広島、長崎への原子爆弾投下のこともラジオのニュースで聴き、胸

朝七時前、NHKラジオ「私達の言葉」という番組が大好きでよく聴いていました。私は四季折々我が家の庭に花が咲いたことや、農家の味噌作りなど日常のできごとを書いて投稿したものでした。採用されたら全国放送で読まれました。千葉の義弟から「ラジオ聞いたよ。」と連絡があったりもしました。採用されたら、

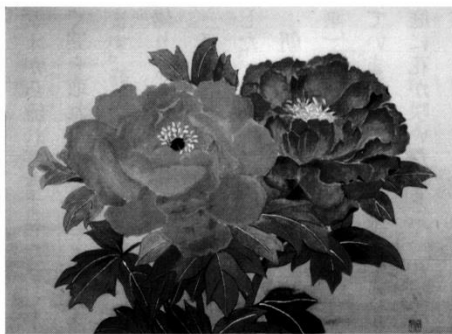
「NHK」と織り込まれた白いタオル二枚が送られてきました。私はそのタオルを記念として大切にしました。その後は採用されると無地の肌触りのよいタオルになり、次はテレフォンカードになったことを思い出します。また他のリスナーの方と交流もでき楽しかったことを思い出します。

畑仕事に行くときは携帯ラジオを持って行きました。電波が悪く聴きづらかったのですが、時計代わりにもなりました。当時は、薬用の芥子を厚生労働省の許可のもとに栽培をしていました。ラジオの楽しい話を聴きながら、夕方芥子坊主に切り傷を付け、翌朝にじみ出た汁を集めました。朝、五時頃からの作業でしたがラジオのお陰ではかどりました。

今はラジオを聴くこともなくなり

ました。

気づけば、大正、昭和、平成と長い人生を生きてまいりました。



日本画 岡 勝子

## スカート

三浦 智江子

戦後十年程経った頃、まだ物資は乏しく、店なども少なかった。その為、小学校の修学旅行用に、祖父のセルの着物を解いて、母が私のプリーツスカートを仕立ててくれた。

修学旅行から帰ってからは、普段はきにして、薄手ウールのはき心地はよく、毎日毎日はいっていた。

するとそのことを同級生の男子達は「万年スカート」と陰口しており、ほどなく私の耳に入ってきた。陰口を言い出した男の子もおよそ見当がしんでいたのだろう。

そのことを母にすぐ伝えたのか、新しいスカートを作ってもらったの

か、今では思い出せないが、「万年スカート」のひとは、くつきりと憶えている。

陰口を言い出したり、こそこそ嫌がることをしていたこの男の子は、大阪で教師をしていたそうだが、四十代で早世したと人伝に聞いた。

同期会名簿に載っている住所の近くに行くことがあって、焼香だけでもさせてもらおうかと思ったが、気持ちの中だけで冥福を祈ることにした。

この歳まで生きていけば、同期会などで集い「あの頃は、よくもー」と苛めてやり、笑い合っって杯を傾けられたのに、と思う。

もののない時代、高価なウールの着物を私の為にたおしてくれた祖父の気持ち、男の子達の残酷、そして年月等々に思いをめぐらせている。

スカートに着替へて走る膝の辺はまだ寒かりき若葉のころは

心地よきセルのスカート永くはき「万年スカート」と陰口言はる

陰口を言ひ広めぬし大頭の池田俊明奴に会ひたし

# 歴史紀行

大きなできごと

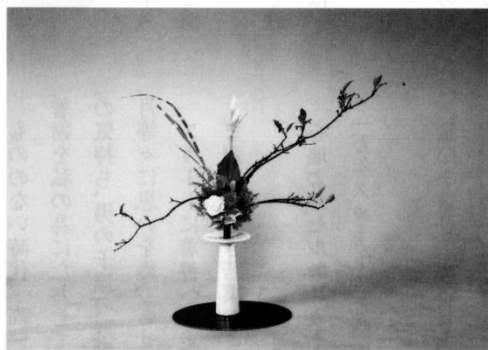
些細な歩み

みな

人間の歴史

かたりべとなって

伝えよう



生花 樽井悦甫

## 王道池の今昔

野村勝志

大札池は、字大札の地にあり古来よりの名称である。バレンタインパーク完成後、作東町の中心となる、王道の庭、王道池としてレインボーホール建設後、人の知るところとなり更に合併後は、市内外から多くの人々が訪れ一層存在感を増している。しかし、大札池は地図上から抹消され王道池になっていく。観光のためか、町長の一存か、時の区長との合意か、時の副区長であり池の代表であった私にも記憶がない。

池の世話の長として放水を止めるのに素裸になり水に潜っていた。道路整備により道を低く、土手が高くなる時に池の内面にブロックを

張り放水は陸からするよう尽力し、完成したことと淋しい池が世に出たことに感謝の思いです。

増築記念写真は、昭和十二年末初冬で七月日中戦争が勃発した年でもある。新田開発、食糧増産、用水確保の嵩上げ拡張の工事です。工法すべて人力で南側の山、池の内側から掘り土をモッコウに入れ二人で担ぎ土手高く内側土は「はがね」として特に締める。男は亥の子石と杵で、女は、手に棒と足で歌声合わせての千本突き、その光景を今なお鮮明に覚えていく。

「写真には、前列右より一人おいて父、次の次は、役場務めの宮前平さん。

町長の松本益蔵さん。区長の真野恵作さん。祖父に抱かれているのは、詩吟で知られる衣旗義文さん。阿曾一家。左端は、武地鉄工所社長兄弟。山にいらるのは学校帰りの日指の子。」私七歳後半いない私のみ知る。全員故人となられた。

池の奥の峠を大札と言い、越すと田原。交差点北の一軒家の前に出る。鎌倉時代末期、元弘二年（一三三二年）後醍醐天皇、佐々木道誉五百騎に護られ隠岐の島に配流の時、大札を通られ玉来の元、帝岩で休息、藤生へ渡られた。帝岩川中に落ち、「かどの岩」として現存していた。玉来の元は水深が浅く入江があつて筏もあり季節によっては板橋もあつた。

大札からの道を王道と言う。池の西山麓に平らなる所あり、日指村盛

んな頃「日指山西登山口、打越山懺悔寺ありてこれより不浄の者立ち入り能わず、後讚華寺となりて云々」とあり、英田郡史考に記されており、等身大の巨石に文字が刻まれていたが、今は工事後行方知れず。

日指に向いて広場の処、大きな谷で水田があつた。更に進むと札立と言うところ。住宅の附近で昔、日指村と中央との連絡場所であつた。この附近は、川崎・日指・田原・松脇・吉田の境界線であり小道もあつた。

昭和二十五年ころの初春の池の下、四ツ辻南の山で父母と三人薪こりをしていた。下より人の声あり日指の喜衛門さんとの嫁どり六人、嫁さん始め尻からげ、仲人らしき人「あすこを曲がったら池、そしたらすぐじや」これからが大変、可笑しく思い、

また、気の毒。後年嫁さんだった人と合いその話になり「私仲人にだまされました。」私は「よい人と結ばれて」と大笑い。

自動車も通らぬ細い道、今は四方への広い道となる。

・大札池 王道池に 変るとも

水面は美なり 今も昔も

・王道池 姿変わりて 八十歳ぞ

永久に輝き バレンタインで

※（王道池の畔にある大看板を改めて見て欲しい）

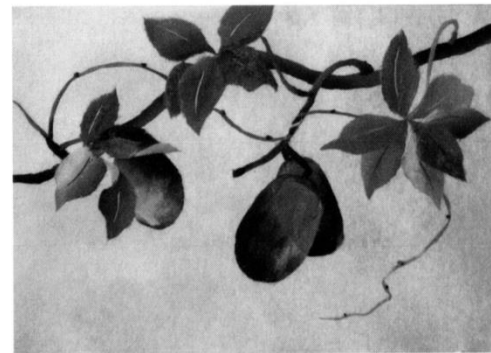


写真 井口満春



# 短文学

生きている  
あかしとしての  
自分の思いを  
自分の言葉で  
表現する  
その表現が  
万人の魂を  
ゆり動かす  
短文芸の力  
伝統文化の力



ちぎり絵 下山美好

# 俳句



洋画 遠藤 榮

## 小旅行（その三）

春名 はるを

明日香村古き祠ほくらに時雨来る  
信濃路の山脈はるか雪の果  
バスは行く紀伊の山々花盛り  
かずら橋はし祖谷の青葉に見え隠れ  
青嵐高知の城を吹き抜ける

## 山里の一年

阿 北 斎

老桜が咲きて今年も山の里  
積乱雲どこまで昇るもくもくと  
紅葉の始まりし朝向山  
初雪にタイヤ取替え準備する  
新年は妻と山への感謝から



椿

丘乃 雀

歌姫の胸で燃え咲く紅椿  
名歌手のARIA聞きしや庭椿  
セシウムを知るや知らずや山椿  
過疎の村人目につかぬ山椿  
山奥で惜しまれもせず落ち椿

栗の花

坂井 はつ子

重苦しきにはひ放つよ栗の花  
雄花を振り落としてぞ雌花立つ  
栗雌花母系家族めく昨日けふ  
静かなる日日となりたる栗雌花  
雌花には金平糖様の子を守り

山里

豊田 絢子

ゆふまぐれ匂ひこもりて栗の花  
廃屋の門に今なほ小菊咲く  
草の穂をかすかに揺する風の声  
冬耕や聞せまり来て影をのむ  
何も無き山里なれど冬銀河

七草粥

杉本 幸子(土居)

真つ先に春を知らせてふきのとう  
病棟の七草粥やほのかな香  
さきがけて一輪咲きし桜草  
小鳥きて小枝に遊ぶや春めきて  
植え終えし田の面を掠め飛ぶツバメ

空や野や

沖田 はるみ

暁けそめし東の空初鶏  
今年また同じ秀つ枝の初音かな  
山幾重こだまの如くほととぎす  
稲雀追はれ隣へまた次へ  
一羽寄り二羽寄りやがて鴨の陣

浅き春

樽井 悦子

浅き春ほほなでゆきし風しみる  
風強し明日の日迷ふ凍てし道  
夜桜のあかりほのかに人案じ  
一泊の宿の浴衣の丈長し  
あき家にもたれが植えたか菊香る

草取り

山本 靖子

老ひてなほ足を投げだし草を取る  
船頭の唄声流る初夏の川  
手づくりの少し固めの桜餅  
時雨るるや夕餉を囲む窓あかり  
夕暮の窓から見ゆる枯木立

竜の玉

高橋 ヤエ子

水仙や墓にすたとんと瀬戸の海  
竿灯のごとき鈴なりミニトマト  
玉葱の小屋に鳴門の風渡る  
月昇るセピアに沈む砂丘かな  
竜の玉路地を分け合ふ家二軒

春キヤベツ

樽井清江

日光を浴びて肥えゆく春キヤベツ  
絶景の京都の旅や春惜しむ  
初蛩庭にゆうらり迷いくる  
庭に立ち風の歌聞く秋の宵  
一汁をかかす事なき根深汁

子つばめ

井口祥子

餌せがむ子つばめ達の大き口  
雑草の根強い力ふぐり咲く  
せせらぎのかなでる音に春一步  
最後尾列車の景色春惜しむ  
寺めぐり紫陽花あじさいさつき迎えられ

さくらもみじ

福嶋多斐子

風過ぎてさくらもみじの二、三枚  
羽一つ残して蝶の高く飛び  
せみの声七日の命ふりかえる  
息白しスクールバスに三、四人  
病む友にもくせいの香をおくりたし

限界

春名静山

曼珠沙華赤い車の送迎車  
限界の村の一軒春灯し  
夕立の降り分けている橋の上  
日向ほこ本家の猫も来て座る  
入選を生き甲斐として年迎ふ

川柳

点

春名静山

冗談が本気になって来る男女  
生還は点に始まる宇宙船  
惜別の太鼓涙の乱れ打ち  
人形に癒されている認知症  
烏合の衆でも多数なら第一党



書道 黒石初江

# 短歌

## 重ねて思ふ

山下 三景

ゆく年のあとにくる年歳ひとつ重ねて何をめでたく思ふや  
草を求め生涯旅をすといふフリブーにわれを重ねて草を刈る

年老いて子の住む町に移り住む時代に思ふは『楢山節考』

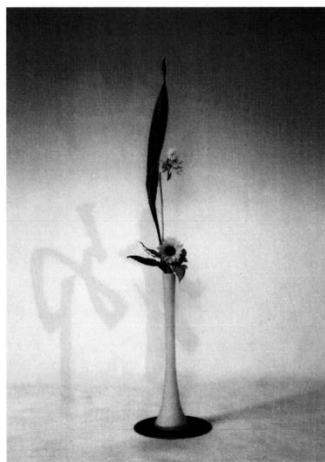
## 兵庫県知事選挙

坂井 はつ子

県知事の選挙があるねと歩きつつ夫と話す「行くうで」などと

知事選の最中と言へど投票をうながすばかりぞ静かなる里

知事選はいつ終りしや生ぬるきビール飲まされたりし心地してゐぬ（期日前投票をしたので）



生花 末宗悦甫

## 新緑の中

中村 千州代

村人の長持唄にて送られてわが嫁ぎしは五十年前  
言葉とは移りゆくもの変はるもの諾ふ心と淋しむ  
心  
終はりなき時を夫らと眠る場所わが里は今新緑の中

## 勝てと祈りつ

加藤 幸子

観衆に見する力士の底力向き合う二人の意気込み  
見入る  
平然と勝負に挑む男気質昨日負いたる痛みは言わず  
睨み合う肩に痛痛しきテーピング勝てると思えず  
勝てと祈りつ

## 前向きに

杉本 幸子（土居）

我が心病魔に敗けるな強くなれ勝てば必ず手足動く

前向きに強く生きよと娘と孫は我に寄り添い病魔に勝てと

車椅子に乗せてもらいて野路ゆけば田の面は青く風はそよぎて

## 老二人

宅美 とみ子

出来るならわが家の暮らし願ひをりデイサービスに頼りながらも

孫ら来て想ひ出話に盛りあがり夏のひと日は暮れずともよし

隣りから胡瓜にトマトが又届き食欲旺盛老いとて二人は

## 大好きな孫

土井 つゆ子

入れ替り立ち替り孫が泊りに来何をするにも一緒が楽しく  
孫たちが蟻の観察始めたり巣を見つけては頭寄せ合ふ

「山崎小」の運動会に夫と来て二人の孫を探しに探す

## 兄逝く

山下 照夫

異郷にて不帰の客とはさぞ無念聞きたる我も無念至極ぞ

地震起き復興半ばに水害魔九州一帯は生き地獄なり

退院の嬉しき朝に佳き報らせ五体堅固の曾孫生まると

## 「米ソ英仏中」の指針直視の事など

加藤 芳英

「戦勝の五大国」こそ共生と「核兵器禁止」の指針を示せ

萌黄どき美作の空「黄砂」など煙霧漂う哀しい汚染

「千種鉄」の原料「砂鉄」が後山吉野川産多しと伝う

## 春

新田 みどり

春むかえ夢に描いたリフォーム開始カンナの音に心うきうき

こいのぼり見上げる空にゆうゆうとああ人生もこうでありたい

散歩道今日はきつといい日だよそっと見つけた四つ葉のクローバー

## 我也嬉しき

森本 久子

夕風にふくろふ啼きつつさまよふかとまり木の葉のかるくゆれつつ

山峡の小川のほとりに舞ふ光ほたるの群れはいづこに消えゆく

刈りあとに落穂みつけし雀ごの仲間呼ぶ声我也嬉しき

## 春

光井 房子

二鉢のかねのなる木のその花に初日はきよし元日の朝

プレゼントの腕時計見つめ興味もち時計を知り行く一年生の知恵

枯木とも見えし山椒の枝先に新芽を見るはわが誕生日

## 大山

名部 みどり

嫁が鳥があればよと言はれふり向けば夕陽が落ちゆく湖の色

話もせずねむりもせずこの時は車窓に大山があるだけでよし

大山に別れを惜しむは我のみか雀のさへづりを乗せて走らむ

## 米寿の夫

野沢 老梅

播種は二月ビニールハウスと夫の手の温きに育ちて胡瓜の初採り

娘の作の帽子袖無し身につけて米寿の夫はカメラに収まる

瀬戸の海は風ぎるて集ひし親族が夫の米寿の今日に乾杯

衣替へ

藤川 亜也

里訪へば難聴の父と筆談せし小さき黒板が納屋隅に在り

夏野菜の色とりどりが衣替へし畑は緑の冬の菜園

来年も着る事あるかと思へども又仕舞ひ込み腰なのでおろす

季の移ろひ

安西 苑

初夏の山の緑に際立ちて一輪二輪と朴の花見ゆ

花終へて緑となりし辛夷の木は数多くの実をつけ命残すも

見上ぐれば空は日に日に高まりて朝夕の風が秋を運び来

希望

井上 さか糸

うらなる春の日広ごる空の下上着放りてジャガ芋伏せゆく

草花に果樹の花々競ひつつ咲くや咲く咲くわが家のめぐりに

山も田も日々刻々と青増して躍動の喚起天地を駆けゆく

つながり

大内 佐智

「無理はするな」と言ひて去にをり母の日の花の針をば置き呉れし娘は

「成せばなる」の父の口ぐせ想ひ出す昔気質で頑固者なりき

弟妹の顔に見らるる年月の長きを想ふ今宵の集ひに

血縁

藤本 伸子

爺さんに抱かれて眠る曾孫よ私の血を引く手を握りしめ

給料をもらふ孫にも顔見ればそうつと遣るかポケットの

私の血を継ぎたる兎ぞと思ひつつ写真に話すか前向いてゆけと

水

内藤 慶子

流れ行く谷川の水穏やかに大雨降れば激流と化する

青青と山に囲まるる奥津溪鏡のやうに透き通る水

溜池より水出してゐる谷川も日暮れを覗けば水なし川に

焦点

松井 洋子

一点を突き刺す如く光りをり金色の手摺りに夏の陽射しきて

ロボットが無言で動く工場をじつと見つむる我らの見学

君が言ふ人と私の思ふ人が次第に近付き焦点が合ふ

温き余韻

有元 理嘉子

待ちをりし愛の小径の歌会も終りて温き余韻にひたる

ゆつくりと時の流るる豊けさをかみしめをりぬ今を満たされ

年賀状今年が最後と書く友は施設に入るをとつとつと言ふ

## 痛みいろいろ

横山 美恵子

目覚めれば指の体操手のしびれを徐々にほぐすが  
ひと日の始まり  
腱鞘炎の痛みも和らぎ草引けば秋晴れの下もとにきら  
りとつゆ草  
若き頃寝相の良さを自慢せしに今にし思へば腰痛  
の因

## 銀光

小林 洋子

信ずるも信じざるにも運勢の占ひ読めど過ごすは  
我流  
満足を感ずるハードル低くして一人お茶なす春日  
の午後よ  
花の散り雨を受けたる牡丹の葉の無数の水玉銀光  
放つ

## 天国の夫よ

原田 順子

仏壇に先づ挨拶し感謝をし旅の話を長々聞かす  
八年目の今日は夫の命日なり好む物食み思ふ事な  
す  
夫の里に帰りて十五年災害もなく見守りくれしか  
天国の夫よ



写真 山本 眞人

## 残る身に

新免 三代

母逝きて三十五年なれども忘れ得ず手と手を紐に  
て繋ぎて寝しを  
子の無きを受け入れつつに生き来しも終の始末に  
くどくど迷ふ  
一日の時間は平等に有るなるか柩の兄と弔ふ我に

## 心を込めて

新田 千晶

ご先祖を心を込めて迎へむと掃除も念を入れてし  
てをり  
質素なるお供へ飯も心して作りてをりぬご先祖様  
に  
送り火を済ませて夜道を帰りをれば蛙も鳴きて送  
り呉れをり

## わが犬「空」よ

豊田 絢子

合歓の木のやさしき揺れに従ひてわが犬「空」よ  
逝きたるか「空」よ  
かき抱きて汝が体をし撫でたれば手に伝ひ来るは  
ほのかなるぬくもり  
知らぬ間に汝がおもかげを求めをり命死にしとあ  
きらめにつつも

## 十葉の花

末宗 玲子

笹・三葉・著莪・雪の下・戩草が鏝を削る五坪の  
空地  
小さき芽はハートの形でかはいいがお前は戩草抜  
かねばならぬ  
荒れ庭を彩りゐるは十葉の白き十字の花のみなり  
けり

## 我がルーツ

黒石 初江

離散して六十五年の生れし村の淡き記憶を父に確かむ  
生れし地は旭川湖の岸となり遊びし河原は湖底となりぬ  
母生れし村は三休公園となりて我らが桜を見に行

## 元気な人びと

丘野 道子

パソコンも車も使ひこなしつつ後期高齢と笑ふ人あり  
腐らない水を求めて長距離の運転厭はぬ人のありけり  
のり面に階段作る工夫らの大きな声と機械の音と

## 草を引く

北村 和子

是の世に不用となりし我にして畠の雑草と呼ばれ  
るるなり  
友よりの誘ひの電話のありし日は草引く手許が軽くなるなり  
湿布を貼り「リポビタン」飲んで我か体を騙し騙しつつ今日も草引く

## 遺伝子

角南 三津糸

成人の男孫凜々しき社会人見上ぐる程に亡き夫に似てきぬ  
三人の曾孫の健やかなる成長に励まし貰ふか  
「生」ある限り  
女曾孫が幼い頃の我に似るに「遺伝子」なるもの  
今更思ふ

## 老いの日日

船曳 文子

見もせぬにテレビの映り続けるをそれでよしとする  
独りの暮らしよ  
生涯にマイカー持たぬこの吾もシルバーカーは立派なマイカー  
ちよつとだけおしやれなどして写りをり一年生の曾孫の横で

## 年重ねつつ

角 利津

安らぎをフォーレのレクイエムに貰ひたり死者にあらざる現し身にして  
表札の名前はうすれコスモスの末枯るる生れ家よ鍵を開けたり  
歌にかもわれに今あるこの命支へられつつ年重ねつつ

## 歌友の逝く

黒石 登代

歌友の黒石貞子さん逝く農婦なるわれに短歌を勧めてくれにし  
農婦なる忙しき日々のひと時を学生時代に帰しし  
短歌  
雪多き年豊作と語りぬし祖母の言葉のまことなれかし

## うつろひてゆく

長澤 和枝

わが居間に挿したる菜の花かすかにも香りてその  
黄明るさ増しきぬ  
紫に咲きし桔梗を瓶にさし娘の来る時を待ちてゐるなり  
白々と八つ手の花の咲きつげる光ゆらすがに耐鶴  
きぬ

## 天の川ロマン

貞森 房子

七夕に今年も雨の多ければ天の川あふれて悲恋の  
双つ星か  
今世紀裳裾からげて宇宙船に逢引き楽しむ牽牛織  
女とも  
我唯に故事に添ふかや銀漢の星のロマンにや胸と  
きめかす

## 春が近づく

日下 智加枝

がうがうと轟く音に目の醒めて風の仕業に耳とが  
りゐる  
存在感のある人ない人乾きゆく切干大根がにほひ  
をたたす  
ダムの水は翡翠のいろにたゆたひて行きつもどり  
つ春が近づく

## 飼ひ猫

福島 美智子

かうかうと月照る夜に鹿は鳴く人知れぬ思ひ形と  
なりて  
飼ひ猫の三角の耳は冷たかりやつこは止めて湯豆  
腐にせむ  
かへりみて言葉少なき夫と我漂流のやうなる日々  
をすごせり

## 安らぎ

春名 倫子

日の暮れに草ひきながら口ずさむは平城山のうた  
万葉のうた  
条幅に墨くろぐる筆はしらす三十一文字に想ひを  
こめて  
「書」をかくも古代史読むもささやかなるわが人  
生の安らぎとなる

## 富士野峠

浜田 くに子

鉾山に栄えし昔を地に埋めて「富士野峠」は芽吹  
き初めをり  
「いほ地蔵」の水を替へをり湧き出づる源流水を  
掬ひて母は  
四千人が暮らしみきとふ「明延」の廢坑仕込みよ  
「播州一献」

## わたしは消えて

入矢 敏江

しづやかな夜半のみ空のただなかの北斗七星わた  
しの真上  
濡るるほど霧ふかみゆくぬばたまの夜をさまよふ  
か鹿は鳴きつつ  
水のおと木立を過ぎゆく風のおと目を閉ぢをれば  
わたしは消えて

## 今日も生きて

三浦 智江子

暮れなづむ西空にして夕月に触れむばかりの濃き  
ひとつ星  
朝よりメール打ちつつ自らの今をうべなふ言葉に  
出遭ふ  
飯つぶを祖父は練りぬきふるき筆よみがへらせむ  
と続飯つくる

## またしても

関内 惇

またしても約束の時刻を確かめつ違ふを許さぬわ  
が性にして  
またしても裏取引きが法案の審議の時間を喰ひる  
るかや  
またしても地図を開きて確かめつミサイル発射地  
到達せし地



## 作東文化協会 グループ紹介

| 部 名  | グループ名        | 種 別        | 代表者氏名  | 指導者氏名  | 例 会             | 場 所                       | 展 示 会 等                                  | 作東文化協会会員 |       |            | 作東文化協会未加入者 | 合 計 |
|------|--------------|------------|--------|--------|-----------------|---------------------------|--|----------|-------|------------|------------|-----|
|      |              |            |        |        |                 |                           |  | 作東地区内    | 作東地区外 | 子ども(中学生以下) |            |     |
| 書道部  | 1 白雲書道会      | 書道         | 北村福作   | 山本千代子  | 月2~3回           | 作東公民館<br>林野公民館            | 白雲書道会展(作東美術館)                            | 12       | 15    | 70         |            | 97  |
|      | 2 阿部書道会      | 書道         | 真野みよ子  | 真野みよ子  | 月4回             | 川崎教室                      |  | 2        |       | 21         |            | 23  |
|      | 3 書春名        | 書道         | 春名直子   | 春名直子   | 月3回             | 高本公民館 角南公会堂<br>土居西町コミュニティ |  | 6        | 1     | 20         |            | 27  |
|      | 4 玲華書道教室     | 書道         | 末宗玲子   | 末宗玲子   | 月2~4回           | 末宗玲子宅                     |  | 3        | 2     | 9          |            | 14  |
| 絵画部  | 5 作東水彩画教室    | 水彩画        | 小林道幸   | 竹中信清   | 月1回             | 作東農村環境改善センター              | 春の絵画展                                    | 10       | 4     |            |            | 14  |
|      | 6 作東油彩画教室    | 油彩画        | 小林道幸   | 竹中信清   | 月2回             | 作東農村環境改善センター              | 春の絵画展                                    |          |       |            |            |     |
|      | 7 さつき会       | 絵画         | 寺師喜代美  | 井上美智江  | 月2回             | 教室 華(美作市江見)               |  | 7        | 5     |            | 3          | 15  |
|      | 8 土居すみ絵      | 水墨画        | 小林艶子   | 岩本敏子   | 月2回             | J A勝英土居支所                 | 南花墨画会出展                                  | 5        |       |            |            | 5   |
|      | 9 彩の会        | 絵手紙        | 木南節子   | -      | 年3~5回           | 個人の家等                     | 吉野郵便局、大原保健センター<br>きんちゃい館にて展示             | 3        |       |            |            | 3   |
|      | 10 すみれ会      | 絵手紙        | 岩本敏子   | 岩本敏子   | 月2回             |                           |  | 8        | 1     |            |            | 9   |
|      | 11 こぶしの会     | 油彩画<br>水彩画 | 田中佳栄子  | 権田直良   | 月2回<br>年2~3回写生会 | JA作東支店大会議室                | グループ展                                    | 4        | 3     |            |            | 7   |
|      | 12 吉野ひめっ子クラブ | 絵手紙        | 小坂田千恵美 | -      | 月1回             | 殿河内集会所                    | 宝妙寺(節分祭他)、吉野郵便局<br>吉野きんちゃい館、ビューティーサロンシオン | 11       | 1     |            |            | 12  |
| 茶華道部 | 13 ひまわりの会    | 華道         | 中田敏子   | 中田敏甫   | 月2回             | 作東公民館                     |  | 8        |       |            |            | 8   |
|      | 14 茶の湯同好会    | 茶道         | 谷本津多江  | 谷本津多江  | 月2回             | 作東公民館                     | 9月お月見茶会、1月初釜                             | 7        | 1     |            |            | 8   |
| 文芸部  | 15 英北短歌会     | 短歌         | 横山 猛   | 関内 惇   | 月1回             | 作東公民館                     | プラザ展示(3月、10月)<br>文芸愛の小径短歌会(4月)           | 14       | 11    |            |            | 25  |
|      | 16 能登香短歌会    | 短歌         | 松井洋子   | 関内 惇   | 月1回             | 粟井教育集会所                   | プラザ展示(3月、10月)<br>粟井村の行事(ふれあいの集い)         | 12       |       |            |            | 12  |
|      | 17 吉野短歌会     | 短歌         | 新免三代   | 関内 惇   | 月1回             | 吉野公民館                     | プラザ展示(年2回)                               | 11       | 1     |            |            | 12  |
|      | 18 山家川俳句会    | 俳句         | 春名貞和   | 春名 はるを | 月1回             | 福山地区センター                  |  | 9        |       |            | 3          | 12  |
|      | 19 作東川柳同好会   | 川柳         | 福嶋完治   |        | 年1回             | 作東公民館                     |  | 15       |       |            |            | 15  |

## 作東文化協会 グループ紹介

| 部 名   | グループ名         | 種 別         | 代表者氏名   | 指導者氏名                            | 例 会     | 場 所                       | 展 示 会 等           | 作東文化協会会員 |       |            | 作東文化協会未加入者 | 合 計 |
|-------|---------------|-------------|---------|----------------------------------|---------|---------------------------|-------------------|----------|-------|------------|------------|-----|
|       |               |             |         |                                  |         |                           |                   | 作東地区内    | 作東地区内 | 子ども(中学生以下) |            |     |
| 歴史部   | 20 歴史地名研究会    | 地名研究        | 新 田 祐 之 | 特定の指導者はなし                        | 月1回     | 作東公民館                     |                   | 12       | 6     |            |            | 18  |
|       | 21 古文書を読む会    | 古文書         | 真 野 みよ子 | 安 東 靖 雄                          | 月1回     | 作東総合支所会議室                 |                   | 6        | 2     |            |            | 8   |
| 写真部   | 22 写真同好会 写友   | 写 真         | 小坂田 貢   | 小 玉 司                            | 年4回     | 随時 撮影時、場所不定               |                   | 14       | 1     |            |            | 15  |
| 芸 能 部 | 23 吉野ハピネス     | 大正琴         | 阪 本 和 子 | 富 永 仁 美                          | 月2回     | 吉野公民館                     |                   | 7        | 4     |            |            | 11  |
|       | 24 J A勝英あずさの会 | 大正琴         | 岩 本 敏 子 | 藤 谷 守                            | 月1回     | J A勝英本店                   | 西日本大会出場           | 4        | 5     |            |            | 9   |
|       | 25 舞 の 会      | 剣、詩舞<br>日 舞 | 石 川 八千代 | 早瀬流 安原舞舟-菊木流 渡邊征山<br>正派老藤流 若柳吉品等 | 月4回     | 作東公民館、林野公民館<br>個人宅        |                   | 9        | 2     | 1          |            | 12  |
|       | 26 作東吟詠愛好会    | 吟 詠         | 光 辻 猛 美 | 光 辻 猛 美                          | 月2回     | 粟井、江見、竹田、土居、<br>吉野、豊野、各地区 |                   | 23       |       |            |            | 23  |
|       | 27 コール作東      | コーラス        | 松 本 教 代 | 池 田 直 美                          | 月2回、年3回 | 作東公民館                     |                   | 15       | 1     |            |            | 16  |
| カラオケ部 | 28 作東音楽同好会    | カラオケ        | 島 民 子   | 土 屋 博 司                          | 月4回     | 作東公民館                     | 美作市文化連盟芸能発表会(年1回) | 5        | 11    |            |            | 16  |
|       | 29 粟井カラオケ同好会  | カラオケ        | 松 本 満寿子 |                                  | 月2回     | 旧粟井小学校音楽教室                |                   | 10       | 1     |            |            | 11  |
| 工 芸 部 | 30 江見ちぎり絵教室   | ちぎり絵        | 唐 内 治 美 | 杉 本 幸 子                          | 月1回     | 作東公民館                     |                   | 4        | 1     |            |            | 5   |
|       | 31 福山ちぎり絵教室   | ちぎり絵        | 下 山 美 好 | 杉 本 幸 子                          | 月1回     | 福山多目的集会所                  | 山の学校              | 14       |       |            |            | 14  |
|       | 32 む つ み 会    | ちぎり絵外       | 山 本 津多江 | なし                               | 月2回     | 原公民館                      |                   | 6        |       |            |            | 6   |
| 棋 道 部 | 33 双山囲碁クラブ    | 囲 碁         | 横 山 廣 志 | 横 山 廣 志                          | 年2回     | 作東老人福祉センター                |                   | 21       |       |            | 48         | 69  |
| 情報映像部 | 34 お達者ねっと倶楽部  | インターネット     | 鳥 形 初 美 | -                                | 月2回     | 旧粟井小学校1階会議室               |                   | 5        | 3     |            | 3          | 11  |
| 手 芸 部 | 35 ビーズを楽しむ会   | 手 芸         | 野 村 啓 子 | 西 坂 暁 子                          | 月1回     | 作東公民館                     |                   | 8        | 5     |            | 1          | 14  |
|       | 36 手芸編物教室     | 手 芸         | 原 田 豊 子 | 原 田 豊 子<br>野 村 啓 子               | 月4回     | 作東公民館                     | 宝妙寺(節分祭、青葉祭)      | 14       | 5     |            |            | 19  |

324人 92人 121人 58人 595人

# 平成28年度 作東文化協会事業報告

## 【全体事業】

| 年  | 月  | 日  | 事業名            | 内 容   |
|----|----|----|----------------|---|
| 28 | 4  | 28 | 第1回理事会         | 事業計画・会員募集・文化誌原稿・視察研修・文化誌「作東の文化」(第42号)発刊について |
|    |    | 5  | 10             | 第1回文化編集委員会                                  |
|    | 5  | 20 | 第2回理事会         | 会員募集・文化誌「作東の文化」(第42号)・視察研修・専門部グループ調査について    |
|    |    | 20 | 会員募集開始         | 会員募集  |
|    | 7  | 3  | 研修旅行           | 伊根湾めぐり(遊覧船)、日本三景・天橋立、傘松公園、カバン工場・田中、海鮮せんべい担馬 |
|    | 8  | 4  | 第2回文化編集委員会     | 応募原稿の確認仕訳作業・原稿応募数について                       |
|    | 8  | 18 | 第3回文化編集委員会     | 応募原稿の確認仕訳作業・原稿応募数について                       |
|    | 10 | 6  | 第3回理事会         | 文化編集委員会報告・秋の文化展について                         |
|    | 10 | 23 | 秋の文化展          | 作品展示(B & G 海洋センター)                          |
|    | 29 | 1  | 20             | 第4回理事会                                      |
| 3  |    |    | 3              | 第5回理事会                                      |
| 3  |    | 17 | 第6回臨時理事会       | 総会について・春の文化展(受付当番について)                      |
| 3  |    | 23 | 春の文化展          | 作品展示(作東農村環境改善センター、バレンタインプラザ、作東美術館)          |
| 3  |    | 26 | 第12回芸能発表会      | (作東バレンタインプラザ)                               |
| 3  |    | 26 | 平成29年度作東文化協会総会 | (作東バレンタインプラザ)                               |

## 【支部活動】

| 部 名         | 年  | 月  | 日                    | 内 容                                     |
|-------------|----|----|----------------------|---|
| 江見・<br>豊野支部 | 28 | 6  | 2                    | 第1回評議委員会(会員募集のチラシ配布のお願い・平成28年度の事業計画等協議) |
|             |    |    | 10                   | 2                                       |
| 土居支部        | 28 | 6  | 6                    | 第1回評議委員会(会員募集、決算報告)                     |
|             |    |    | 10                   | 6                                       |
| 福山支部        | 28 | 6  | 福山支部評議委員会            |   |
| 栗井支部        | 28 | 5  | 26                   | 第1回評議委員会                                |
|             |    |    | 10                   | 6                                       |
|             |    | 11 | 6                    | 研修旅行(しまなみ タオル美術館)                       |
| 吉野支部        | 28 | 6  | 18                   | 第1回評議委員会(理事会の報告、事業計画、会員募集について)          |
|             |    |    | 10                   | 第2回評議委員会(理事会の報告、文化誌配布依頼について)            |
|             |    | 18 | 視察研修旅行(姫路城、セントラルパーク) |   |

## 【専門部活動・1】

| 部 名       | グループ名         | 年                    | 月                    | 日                                     | 内 容                                  |                   |
|-----------|---------------|----------------------|----------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|-------------------|
| 書道部       | 白雲書道会         | 28                   | 9                    | (定例)                                  | 江見教室(作東公民館)月2回開催<br>林野教室(美作アルコ)月3回開催 |                   |
|           |               |                      |                      | 23                                    | 第23回白雲書道会                            |                   |
|           | 阿部書道会         | (定例)                 | 月4回 川崎教室             |                                       |                                      |                   |
|           | 書 春名          | (定例)                 | 月3回                  |                                       |                                      |                   |
|           | 玲華書道教室        | (定例)                 | 月4回 書道実技             |                                       |                                      |                   |
| 絵画部       | 作東油彩画教室       | 28                   | 4                    | (定例)                                  | 月2回開催(油彩画教室)<br>月1回開催(水彩画教室)         |                   |
|           |               |                      |                      | 5                                     | 光風会展出品                               |                   |
|           |               |                      |                      | 9                                     | 春の絵画展                                |                   |
|           |               |                      |                      | 29                                    | 2                                    | 県展出品              |
|           |               | 湯郷を描く展覧会出品(湯郷交流センター) |                      |                                       |                                      |                   |
|           | さつき会          | 29                   | 1                    | (定例)                                  | 月2回<br>院展鑑賞                          |                   |
|           |               |                      |                      | 2                                     | さつき会作品展(美術館)                         |                   |
|           | 土居すみ絵         | 28                   | 4                    | (定例)                                  | 月2回開催<br>プラザ展示                       |                   |
|           |               |                      |                      |                                       |                                      |                   |
|           | 彩の会           | (定例)                 | 28                   | 4                                     | 月1回<br>年4回 展示                        |                   |
|           |               |                      |                      |                                       |                                      |                   |
|           | すみれ会<br>(絵手紙) | (定例)                 | 28                   | 5                                     | 月1回開催<br>プラザ東側展示                     |                   |
|           |               |                      |                      |                                       |                                      |                   |
|           | こぶしの会         | (定例)                 | 28                   | 4                                     | 月2回開催<br>みまさか風の会展開催(アルネ・津山)、写生会(真鍋島) |                   |
|           |               |                      |                      |                                       | 5                                    | 作東教室グループ展鑑賞、県北展出品 |
|           |               |                      |                      |                                       | 6                                    | 萩原教室グループ展鑑賞       |
|           |               |                      |                      |                                       | 8                                    | 県展鑑賞              |
| 10        |               |                      |                      |                                       | こぶしの会グループ展開催(JA会場にて)                 |                   |
| 11        |               |                      |                      |                                       | 秋景色写生会                               |                   |
| 29        |               |                      |                      |                                       | 1                                    | 愛の美術展出品           |
| 吉野ひめっこクラブ | (定例)          | 28                   | 6                    | 月1回<br>随時展示 吉野さんちやい館、郵便局、ビューティーサロンシオン |                                      |                   |
|           |               |                      |                      | 12                                    | 宝妙寺、青菜祭 参加                           |                   |
|           |               |                      |                      | 29                                    | 2                                    | 反省会、来年の計画、忘年会     |
|           |               |                      |                      | 29                                    | 2                                    | 宝妙寺、節分祭 参加        |
| 茶華道部      | ひまわりの会        | (定例)                 | 28                   | 月2回<br>月2回(作東公民館)                     |                                      |                   |
|           |               |                      |                      | 9                                     | 15                                   | お月見茶会             |
|           |               |                      |                      | 29                                    | 1                                    | 13 初釜             |
| 文芸部       | 英北短歌教室        | (定例)                 | 月1回定例詠草会             |                                       |                                      |                   |
|           | 能登香短歌会        | (定例)                 | 月1回定例詠草会(第4金曜日)      |                                       |                                      |                   |
|           | 吉野短歌会         | (定例)                 | 月1回定例詠草会             |                                       |                                      |                   |
|           | 山家川俳句会        | (定例)                 | 月1回 句会               |                                       |                                      |                   |
|           | 作東川柳同好会       | (定例)                 | 偶数月第1水曜日例会・新聞発表会・投句会 |                                       |                                      |                   |

【専門部活動・2】

| 部名        | グループ名                    | 年月日     | 内容  |            |
|-----------|--------------------------|---------|---|------------|
| 歴史部       | 歴史地名研究会                  | (定例)    | 月1回定例研究会(第4火曜日)   |            |
|           | 古文書を読む会                  | (定例)    | 月1回実施 第3金曜日   |            |
| 写真部       | 写真同好会                    | 28 5    | 春景撮影(恩原・蒜山高原)   |            |
|           |                          | 8       | 鳥取県八頭町～岩見町 海撮影会、グループ展示(バレンタインプラザ)   |            |
|           |                          | 9       | 兵庫県香美町 滝 他撮影会   |            |
|           |                          | 29 1    | 平成29年度活動計画会   |            |
| 芸能部       | 吉野ハピネス                   | (定例)    | 月2回開催   |            |
|           | 琴伝流大正琴あずさの会              | (定例)    | 月1回(第2木曜日)  |            |
|           |                          | 28 4 17 | 琴伝流大正琴全国大会出場(高知)  |            |
|           |                          | 7 12    | 福山ふれあい演奏会出場(広島)   |            |
|           |                          | 10 9    | 岡山県大会演奏会出演(岡山)  |            |
|           |                          | 29 3 12 | J A 勝英文化発表会(作東)   |            |
|           | 舞の会<br>(早瀬流・菊水流・若柳流・藤間流) | (定例)    | 月4回(早瀬流・菊水流)<br>月1回(藤間流)<br>5月～11月まで活動休止、12月より週3回(若柳流)<br>宗家講習 月1～2回(早瀬流) |            |
|           |                          | 28 4 13 | 寿の会(姫路市)(早瀬流)   |            |
|           |                          | 5 22    | 全国剣詩舞コンクール岡山県大会(万富公民館)(早瀬流・菊水流)   |            |
|           |                          | 7 3     | 全国剣詩舞コンクール中国地区大会(玉島文化センター)(早瀬流・菊水流)                                       |            |
|           |                          | 9 25    | 敬老会にて発表(作東B&G)  |            |
|           |                          | 10 2    | 第50回中四国吟剣詩舞大会(倉敷市民会館)(早瀬流)  |            |
|           |                          | 11 6    | 美作文化祭参加(菊水流)  |            |
|           |                          | 13      | 岡山県吟剣詩舞道大会(玉島文化センター)(早瀬流)   |            |
|           |                          | 20      | 岡山県吟剣研修会(岡山市)(早瀬流)  |            |
|           |                          | 27      | 菊水流美作地区発表会(菊水流)   |            |
|           |                          | 29 1 7  | 演舞始め式(神戸市)  |            |
|           |                          | 29      | 菊水流コンクール(瀬戸公民館)(菊水流)  |            |
|           |                          | 作東吟詠愛好会 | (定例)  | 各支部(地区)月2回 |
|           |                          | コール作東   | (定例)  | 月2～3回実施    |
|           | (全体)                     | 28 4 8  | 第1回芸能部役員会   |            |
|           |                          | 5 17    | 作東文化協会芸能部会議   |            |
|           |                          | 11 7    | 第2回芸能部役員会   |            |
|           |                          | 12 3    | 第3回芸能部役員会   |            |
|           |                          | 7~8     | 作東老健クリスマス会 発表   |            |
|           |                          | 29 1 27 | 第4回芸能部役員会   |            |
|           | カラオケ部                    | 作東音楽同好会 | (定例)  | 月4回        |
| 粟井カラオケ同好会 |                          | (定例)    | 月2回   |            |
| 工芸部       | 江見ちぎり絵教室                 | (定例)    | 月1回   |            |
|           | 福山ちぎり教室                  | (定例)    | 月1回   |            |
|           | むつみ会                     | (定例)    | 月2回   |            |
| 棋道部       | 双山囲碁クラブ                  | 28 8 16 | 第128回双山囲碁大会   |            |
|           |                          | 29 2 6  | 第129回双山囲碁大会   |            |
| 情報映像部     | お達者ねっと倶楽部                | (定例)    | 毎月第1、3火曜日 インターネット・パソコン講座  |            |

| 部名  | グループ名         | 年月日  | 内容         |
|-----|---------------|------|------------|
| 手芸部 | ピースを楽しむ会      | (定例) | 月1回(作東公民館) |
|     | 妹尾さと子編み物・手芸教室 | (定例) | 月4回        |

【連盟事業】

| 年月日     | 事業名                   | 会場               |
|---------|-----------------------|------------------|
| 28 3 27 | 美作市日本舞踊連盟 第7回発表会      | 美作文化センター         |
| 6 19    | 美作市文化連盟 第9回発表会        | 作東バレンタインプラザ      |
| 7 2     | 美作市文化連盟主催 第18回美作市囲碁大会 | 作東農村環境改善センター     |
|         | 31                    | 美作市カラオケ連盟 第3回発表会 |
| 10 16   | 美作市吟剣詩舞道連盟 第10回発表会    | 美作文化センター         |
| 11 12   | 美作市文化連盟 第19回美作市囲碁大会   | 作東農村環境改善センター     |
|         | 26                    | 美作市カラオケ連盟 第4回発表会 |
| 29 1 26 | 第2回美作市洋画連盟作品展         | 美作市作東美術館         |
|         | 3 26                  | 美作市日本舞踊連盟 第8回発表会 |

# 平成28年度 作東文化協会決算報告

## 【収入の部】

単位：円

| 項目    | 予算額       | 決算額       | 差引額      | 摘要                   |
|-------|-----------|-----------|----------|----------------------|
| 繰越金   | 189,226   | 189,226   | 0        | 前年度繰越し               |
| 補助金   | 359,000   | 359,000   | 0        | 美作市文化連盟より            |
| 会費    | 900,000   | 809,000   | △91,000  | 平成28年度会費 @1,000×809人 |
| 研修負担金 | 300,000   | 132,000   | △168,000 | @6,000×22人           |
| 雑収入   | 868       | 6         | △862     | 預金利息                 |
| 計     | 1,749,094 | 1,489,232 | △259,862 |                      |

## 【支出の部】

単位：円

| 項目       | 予算額       | 決算額       | 差引額     | 摘要  |
|----------|-----------|-----------|---------|---|
| 文化誌作成費   | 480,000   | 425,340   | 54,660  | 印刷製本費 400,540<br>カット写真代 18,500<br>編集委員会昼食代 6,300  |
| 研修及び発表会費 | 310,000   | 246,400   | 63,600  | 研修旅行代 236,400<br>芸能発表会費 10,000  |
| 専門部活動費   | 286,000   | 258,000   | 28,000  | 書道部 24,000<br>絵画部 35,000<br>園芸部（活動休止のため） 0<br>茶草道部 16,000<br>文芸部 33,000<br>歴史部 18,000<br>写真部 14,000<br>芸能部 33,000<br>カラオケ部 19,000<br>工芸部 18,000<br>棋道部 16,000<br>情報映像部 13,000<br>手芸部 19,000 |
| 支部活動費    | 298,000   | 298,000   | 0       | 江見支部 66,000<br>豊野支部 35,000<br>土居支部 55,000<br>福山支部 33,000<br>粟井支部 57,000<br>吉野支部 52,000  |
| 美術館展示費   | 25,000    | 10,000    | 15,000  | 美術館使用の展示補助金（2グループ） 10,000   |
| 文化展経費    | 100,000   | 47,968    | 52,032  | 文化展用消耗品 22,768<br>文化展昼食代 25,200   |
| 会議費      | 30,000    | 17,693    | 12,307  | 会議用消耗品費 3,833<br>役員昼食代 13,860   |
| 負担金      | 15,000    | 13,240    | 1,760   | 美作市文化連盟負担金 10,000<br>文化協会URLサーバーレンタル代 3,240   |
| 事務局費     | 50,000    | 28,696    | 21,304  | 郵送代 14,778<br>用紙代 13,378<br>振込手数料 540   |
| 基金繰出金    | 50,000    | 50,000    | 0       | 文化誌50周年記念号基金へ繰入   |
| 予備費      | 105,094   | 0         | 105,094 |   |
| 計        | 1,749,094 | 1,395,337 | 353,757 |   |

収入総額 1,489,232 - 支出総額 1,395,337 = 翌年度繰越額 93,895

## 【文化誌作成基金の状況】

単位：円

| 前年度末基金額 | 今年度変動額 |     |    |        | 今年度末基金額 | 摘要 |
|---------|--------|-----|----|--------|---------|----|
|         | 積立額    | 取崩額 | 利息 | 計      |         |    |
| 50,004  | 50,000 | 0   | 0  | 50,000 | 100,004 |    |



水墨画 岩本敏子

## 編集後記

役員改選後初の四十三号が会員皆様のご協力により刊行できましたことに編集委員一同感謝いたしております。

前号同様の項目について作品募集をしましたところ、所感・寸言四名、随筆・随想七名、歴史紀行一名、俳句十四名、短歌四十五名、川柳一名と表紙写真一点、挿入写真として各部より十七点の応募がありました。また、特別寄稿として、特別顧問の横山猛氏からも玉稿を賜りましたことに改めてお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

寄稿くださいました中の吉政實夫さんは、第二十二号（平成六年）より連続で「老いのたわ言」として地域の歴史について等を寄稿いただいております、今年七月で満百歳を迎えられました。紙面を借りてお祝いを申し上げますとともに、一日でも長く健やかな日々を過ごされますようお願い申し上げます。

高齢化の影響で作東文化協会の会員減少が続いておりますが、少しでも減少を減らせるよう会員皆様のご協力ご支援を切にお願い申し上げます。

編集委員会

## 作東の文化

第43号

平成29年10月1日発行

編集 作東文化協会文化誌編集委員会  
(美作市教育委員会 社会教育課)

編集委員 新田 祐之 小玉 司 小林 昭文  
谷口 重人 鳥形 初美 中田 敏子  
松本 俊明 真野みよ子 春名 貞和  
山本進一郎 山本 文子

発行所 作東文化協会  
岡山県美作市教育委員会 社会教育課  
TEL (0868) 72-2900 〒709-4292  
HPアドレス <http://bunka.boj.jp/>

印刷所 株式会社 廣陽本社  
岡山県津山市田町22



100歳おめでとうございます  
100歳の誕生日を迎えられた吉政實夫さんが、記念のお祝いをされました。

・吉政實夫さん（土居）  
戦時中、百俵の米を農協へ出したという實夫さん。米作りやブドウ作りなど農業に専念される一方で、八十八か所巡りにも励まれたそうです。これからもお元気で過ごしてください。



吉政さん（施設職員の方と）

※美作市の広報誌「みまさか」の9月号掲載の写し